

## KST専用 負荷流量早わかり

KST 発売以来、一人施工・低コストをキーワードとして、汚水・雑排水分流式の集合住宅において多くの実績をつけさせていただくことができました。誠にありがとうございます。

最近ではベランダに設置されるスロップシンク用の排水立て管継手として、新たなニーズにお応えしております。

KST はコンパクトゆえに、立て管径 100mm の設計用許容流量値は 3.5[l/s]です。HASS206-2000 定常流量法により器具組合せごとに決定された負荷流量( $Q_L$ [l/s])と設計用許容流量値( $Q_p$ [l/s])との関係( $Q_L < Q_p$ )から、適応階数が一目でわかる、KST 専用の負荷流量早わかりをご覧ください、性能の範囲内でご採用いただけますようお願いいたします。

設計用許容流量値 立て管径 100mm

排水負荷	適応階数[階]	設計用許容流量値[l/s]
WC 単独系統	16	3.5
雑排水系統	15	
台所流し単独系統	20	



少人少時少資。

汚水・雑排水分流式継手

# KST-S

負荷流量早わかり 抜粋 (立て管負荷流量)

KST 80A  
 $Q_p=2.5$  [l/s]

KST100A  
 $Q=3.5$  [l/s]

単位: [l/s]

階数	適応階数		器具組合せ		負荷流量 [l/s]
	16	15	16	15	
20					3.2
19					3.1
18					3.0
17					2.9
16	3.3				2.8
15					2.7
14					2.6
13					2.5
12					2.4
11		3.5			2.3
10		3.4	3.5		2.2
9		3.2	3.4		2.1
8		3.1	3.2		2.0
7	3.1	2.9	3.0		1.9
6	3.0	2.7	2.8		1.8
5	2.9	2.6	2.6		1.7
4	2.8	2.5	2.5		1.6
3					1.5

注 1) 管定常流量 = 0.2[l/s]未滿については、HASS206-2000 排水管選定線図では、判読できないので、以下により負荷流量  $Q$  [l/s] を決定した。

管定常流量 = 0.1[l/s]未滿  
: KOJIMA 独自の推定値

管定常流量 = 0.1[l/s]以上 0.2[l/s]未滿

: 排水管選定線図の = 0.2[l/s]の時の値を採用

管定常流量 = 0.2[l/s]以上  
: 排水管選定線図による

注 2) スロップシンクについては、HASS206-2000 に記載がないので、KOJIMA で器具定常流量 = 0.003[l/s]としました。

詳しくはエクセルファイルで……

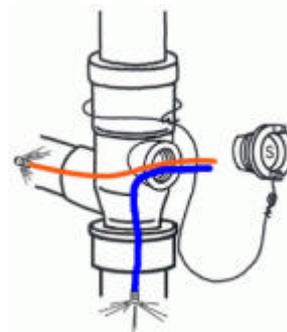
負荷流量早わかり

CORE シリーズ 全品種

KST 専用 ver.



スラブ上面施工例  
ベランダに設置された  
スロップシンク



掃除口付の継手はディスプレイ排水系統にピッタリです。排水立て管も排水横枝管もここから掃除ができます。名付けて そうじしな シリーズ

KST 施工例



スラブ上面施工例 / 台所流し系統      スラブ上面施工 / 一人施工